稲作フィールドワーク
～田植えからお米になるまで～

1＿講師の中澤さんから説明を受ける。2＿グループに分かれて田んぼの雑草を抜く。
3＿集めた雑草はバケツに。4＿田んぼに住むさまざまな生き物を見つけては捕まえて観察する。

三ツ星学園の3年生が、7月5日（金）地名地区で田んぼの草取り体験を行いました。

この企画は町の出前講座の一環として、一般社団法人エコティかわねの稲作フィールドワーク班が行っています。6月には三ツ星学園3年生と光の森学園4年生、5年生が田植えを体験しました。そして、今回は自分たちが植えた稲の周辺に生えた雑草や藻などを取り除く作業を行いました。この取組では、田植えから収穫までの過程を児童が体験することで、お米ができるまでの流れを学ぶことを目的に毎年開催しています。

この日、講師の中澤荘也さん（地名区）から雑草の見分け方と取り除き方の説明を受けた児童は、泥まみれになりながらも、バケツいっぱいに雑草を抜いていました。また、イモリやトンボなどの生き物を捕まえて観察する姿も見られました。

三ツ星学園　3年生
いちかわ　ゆうり
市川　悠莉 さん

6月に自分たちで植えた稲がこんなに大きく成長していて嬉しいです。収穫が楽しみになりました。
毎日食べているお米が、このように誰かの苦労があって作られていることを知り、ありがたいなと思いました。

地名地区　講師
なかざわ　そうや
中澤　荘也 さん

稲作は10年以上、小学生向けの体験は6から7年ほどやっています。品種は「あいちのかおり」、完全無農薬で栽培しているので害虫や病気対策は欠かせません。田んぼの周りの「あぜ」は、害虫が発生する原因となるため、定期的な除草作業が必要となります。しかし、除草剤を使うと稲にも影響が出るので、手作業で刈り取ります。
児童が作ったお米は、10月から11月頃に収穫体験を行い、精米後、学校へ配布する予定です。

創業昭和３８年　三代続く外壁塗装・屋根工事の専門店
川根本町地名 1297-1
090-5879-1694
代表 中村哲也
https://tosouya-nakapen.com
職人直営 塗装屋ナカペン

発行：川根本町　編集：デジタル推進課 デジタル推進室
住所：〒428－0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾627
☎0547(56)2232　広報かわねほんちょうは、再生紙を使用しています。

広報かわねほんちょうでは、おたよりなどお待ちしています。町に関すること、広報に関すること、何でも気軽にお寄せください。
FAX(56)2235　役場デジタル推進課デジタル推進室までどうぞ

UD FONT by MORISAWA